

事業者

平成30年度放課後等デイなごみクラブ自己評価

(小数点以下は四捨五入)

記載責任者:山中保一

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	基準値以上のスペースを確保しています
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	職員配置基準以上の職員を配置し、手厚い支援体制の人員配置をしています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	29%	71%	0%	一応のバリアフリーはしていますが、使い勝手のいいよう改善していきます
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	63%	37%	0%	月に1度の定例全体支援会議で先月の取り組みを評価し、改善の努力を継続しています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	誰が書いたかわからない守秘義務の守られた保護者アンケートを実施し、日常の業務を改善していきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	平成29年度は保護者評価だけだったので、30年度は、事業所評価も公開していきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				平成31年度は外部評価も実施していく予定です
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	92%	8%	0%	毎月の全体支援会議で必ず研修情報を案内し、参加を呼び掛けています
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	82%	18%	0%	アセスメントの客観的な評価のために各項目の点数して、現状の分析と変化をみています
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	63%	37%	0%	幼児期・学童期・青年期と分けて体系化を図っていきます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	43%	54%	3%	常勤職員で立案しています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	93%	7%	0%	利用者様の参加状況の応じて、特性や課題を考慮しながら、プログラムが固定しないようにしています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	個別支援を基本に、利用者個々に合わせた改題設定を毎日して、利用者の方にわかる場所に掲示しています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	その日の利用の中に必ず個別活動と集団活動をいれています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	45%	55%	0%	常勤間ではしていますが、非常勤職員も含めた全職員での徹底をはかります
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	67%	33%	0%	その日にできないことが多いので、翌日のサービス提供時前に行うことが多いです
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	93%	7%	0%	記録を取ることで、情報の集約と分析、そこから見えてくる改善につなげる努力をしています

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	定期的には6か月毎、大きな変化があれば随時モニタリングを行っています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100%	0%	0%	時々、ガイドラインを確認しながら、ガイドラインに沿って複数の支援を行っています
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	児童発達管理責任者が会議に出ています。出れないときは、前任の児童発達管理責任者(現管理者)が出ています
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	毎回、前日に送迎確認メールを実施しています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在、医療的ケアの必要な利用者さんは見えません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	79%	21%	0%	療育センターだけでなく、保育園との情報共有の努力をしています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				まだ、学校の卒業生をだしていません
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	73%	27%	0%	関係機関との情報共有や関係機関の研修に積極的に参加しています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	88%	12%	0%	時々近くの公園で、学童の子どもさんとの交流をします
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	管理者・児童発達管理責任者が参加するとともに、地域の放課後等デイの事業所間で連絡協議会を設け、情報交換と勉強会を開いています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	毎回、利用日の前日の情報交換をおこなっています
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	100%	0%	外部の機関の研修を紹介しています
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	89%	11%	0%	契約時に行っています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	98%	2%	0%	個別に家庭訪問や事業所内での懇談会を開いています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				保護者アンケートの結果、保護者会の立ち上げに至っていません

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	日常的にその日あったことはその日に対応するよう努力しています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	毎月1回の通信を発行しています
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	個人情報の守秘義務・取り扱い規定を作成して徹底を図っています
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	93%	7%	0%	毎利用日に保護者の方にメールで情報交換をするとともに、月に1回の通信を発行しています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	27%	62%	11%	地域の民生・児童委員さんに来ていただいたり、近隣の公民館を借りて、子どもたちの行事をおこなっています
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	年度初めに実情にあったものにマニュアルを編集しなおし、保護者の方に配布しています
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	年2回の年間計画で地震・火災を想定して実施している。また、緊急危難訓練も不定期に行っています。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	県の虐待防止の研修会に職員を派遣するとともに、毎月1回の全体支援会議で、職場学習会で意識を高めています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0%	78%	22%	契約時に身体拘束についての説明を徹底します
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	おやつ時にアレルギーについて個別対応をして配慮しています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	15%	5%	全体支援会議で毎回確認しています